

研修の狙い

“褒め言葉カード”インストラクターになりたい方へ！！

新カリキュラムの褒め言葉カードアドバンスインストラクター養成講座について開講の趣旨をお話いたします。2500年前に老子は「聞いたことは、忘れる。見たことは、覚える。やったことは、わかる」と言ったそうです。この老子の言葉を記憶に残る割合として数字で表現すると、聞いた時10%、見た時15%、話し合った時40%、体験した時80%、そして、教えたときは90%が記憶に残るというデータがあります。(参考ラーニングピラミッド)褒め言葉カードインストラクター養成講座は、「楽しく習う」楽習モデルを使ったインストラクター養成講座です。戦後学校教育は「工場モデル」と言われ、画一的な単純作業を行う人を育成するプログラムが中心でした。社員研修で主流となっている講師が一方的に話しをする「工場モデル」は「真面目、受け身的な学習、つまらない、競争」と言うイメージがします。一方、「楽習モデル」は「明るく、笑いがあり、出会いがあり、動きがある」教育方法です。主役は受講生です。受講生が「気づき」「学ぶ」ことにより、笑いを持ち、お互いの理解を深めあい、成長することができます。そして、このような研修のノウハウを学んで活用できると、コミュニケーションの活性化ができて、より良い人間関係を構築することができるのです。そのメソッドをしっかりと学ぶことができるのが、今回の褒め言葉カードインストラクター養成講座です。1日で褒め言葉アドバンスインストラクター講座と講師力養成講座を学ぶことができます。

* ベーシック講座受講者だけが受講資格があります。

[特典]⇒褒め言葉カード協会オリジナルの褒め言葉カード研修のコンテンツの提供
～翌日から、褒め言葉カード研修のインストラクターができるようになります。
※“褒め言葉カード”は商標登録商品です。許可なくご利用することはできません。

特典!

【受講料】10万円＋消費税（1日間集中講座）

早期割引実施「5万円＋消費税！」（54000円）7月末日までの申し込み限定

*内訳 講座受講料と商標登録商品年間使用料込み（来年7月30日まで）

1. 楽習メソッド活用 ⇒ 受講者が楽しく学び、自己成長を実感できる手法(テキスト学習)

1)工場モデルと楽習モデルの違い(学びスタイル、講師の役割、講師の関心、受講生のゴール、学びの環境、仲間の存在、アフターフォロー)
2)ラーニングピラミッド 3)受講してつまらなかった講座の特徴 4)教わりたくない講師例 5)講師として必要なこと(講座内容と資質)
6)教え方の基本(人は学びたいことしか学ばない、積極的に参加意欲を持つと学びの質・量が飛躍的に増える、学ぶ意味・価値を認めると積極的に学ぶ、安心して学べる環境が必要、協力して学ぶと効果は高い、振り返りとフィードバックがあると良く学べる、お互いに称えあったり、教えあったりすると良く学べる。7)楽習モデルの場の作り方(緊張をほぐす、笑いを演出、意見が出やすいようにする、参加者が親しくなる。

2. 褒め言葉カード研修体験 ⇒ 仕事もプライベートも明るく元気になる10個の実習体験と 褒め言葉カード講師研修(翌日から講師ができます)*時間の都合で割愛する実習もあります。

1)ストローク講義 2)アイコンタクト・あいさつ実習 3)ハッピー&スマイル 4)どちらが好きか実習 5)褒め言葉あいさつ実習
6)即効褒める実習 7)にこにこシート実習 8)叱るコツの講義 9)早口言葉実習、10)褒め言葉カード講師研修

3. 参加特典

- 1)企業様向けプレゼン用パワーポイント資料のデータ提供
- 2)子供向け「褒め言葉カードトランプ」プレゼント
- 3)以後の褒め言葉カードセミナー参加無料

◆日程 東京開催13時～20時

- ・第7回 8月21日(日)
- ・会場 浅草文化観光センター小会議室4F
(定員6名)
- ・振込先:みずほ銀行 雷門支店
(普)1059498

一般社団法人日本褒め言葉カード協会



お問合せは
下記へ